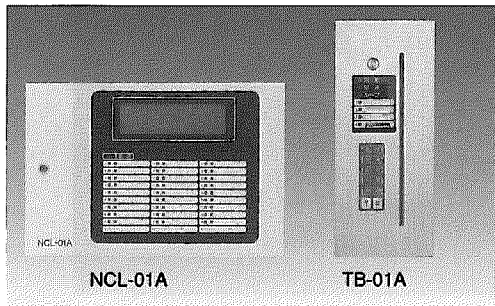
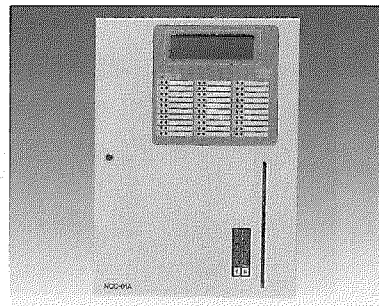


ビルの防犯と出入監視用テナント監視システム



分散型システム (NCL-01A/TB-01A)



集中型システム (NCC-01A)

近年、ビルの運用形態は、より複雑・多様化し、同一ビル内でありながら、ビル居住者（テナント）の利用時間・方法も、さまざまである。

警備業界でも、このような多様化したビル向けのサービス需要が増加し、複雑な利用形態に合わせた防犯・機器の要望が高まっている。

当社も、これらのビルをターゲットとして、2タイプの防犯用テナント監視システムを開発した。

1) 分散型システム

30テナント/監視点数120点までの物件（例：オフィスビルなど）を対象としたシステムで、テナント単位の防犯と出入監視を行うことができる。

テナントの警備の切替え（開始/解除）とその防犯情報の収集は、テナントごとに設置されるテナント端末（TB-01A）で行うため、24時間出入自由なビルの防犯に適している。

2) 集中型システム

30テナント/監視点数30点までの物件（例：マンションなど）を対象としたシステムで、テナント単位の防犯を行うことができる。

テナントの警備の切替え（開始/解除）とその防犯情報の収集は、ビル共用通用口などに設置されるネットワークコントローラ（NCC-01A）1か所で行うため、分散型システムよりも簡易で低コストのシステム構築が行える。

主な特長

1) 多様化する運用形態に対応

各テナントごとの監視点数の配分やゲートの運用に合わせた柔軟なシステム構築（テナント端末同士の連動開始/解除、ビル共用部の自動開始/解除、同一テナント内の部分開始/解除など）が可能。

2) 電気錠解錠信号出力（分散型システムに限る）

警備の切替えとは別に、テナント出入口の電気錠解錠用の操作、および解錠用信号出力が可能。

3) ユーザインタフェース

警備の切替えは、各テナントの運用方法や重要度によって、磁気カード/テンキー/併用/ダブルチェック（カード+テンキー）の中から選択できる。

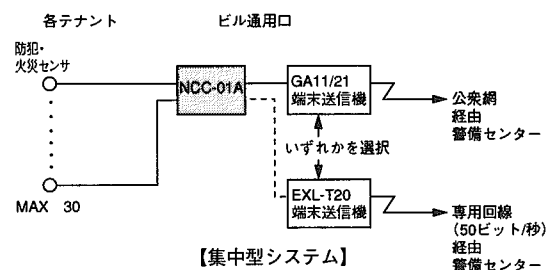
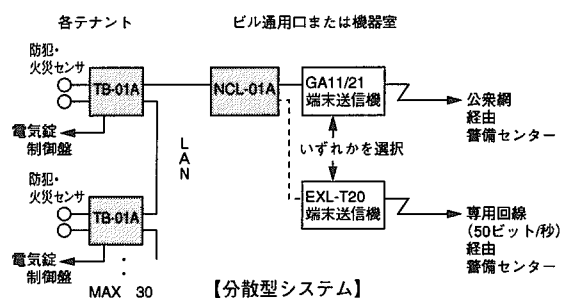
4) LANの採用（分散型システムに限る）

配線にLAN形式を採用することで、従来の配線工事の煩（わずら）わしさを軽減。

また、テナントの増減による工事も容易。

5) メンテナンス作業の容易性

ロギング表示、ソフト設定データの変更はネットワークコントローラ本体のLCDとテンキーによって行える。



システム構成